

資料2 Mt. Rainier 登頂におけるガイドの利用について

(大塚)

ガイドの利用について現地のガイド会社にメール、HP で照会・調査し、また、その可能性及び問題点を検討した。以下はいずれも第2回打ち合わせ(2012. 01. 18 開催)の参考資料として作成したメモである。

~~~~~

### Mt. Rainier 登頂 現地ガイド会社への照会結果の報告(概要)

#### 【I】照会をした現地のガイド会社

(レニア登山ガイドの公認3社。これ以外はレニア山のガイド登山を許可されていない)

- ① International Mountain Guides (以下 IMG と略) 回答あり
- ② Alpine Ascents International ( 同 AAI ) 回答あり
- ③ Rainier Mountaineering, Inc. ( 同 RMI ) 回答無し

#### 【II】照会の目的と照会事項&結果 (①、②ともほぼ同様の回答)

- (1) ガイド会社が公募する講習・訓練付登頂ツアー (Instructional Climb、以下 I.C. と略) に70歳以上でも参加できるかどうか? ⇒⇒参加可能。年齢制限は無い。

ただし、I.C. で要求する荷物のボッカ (約20kg/人)、歩行スピード (400m/h の高度獲得登高スピードで max. 登高8時間・下降8時間\*に耐えられる体力)、ロープワーク、氷河技術、高度順応などが必要。氷河技術、ロープワークなどは現地講習カリキュラムに組み込まれているので、その時の訓練を受講すればOKになると思われるが、体力については登山前に要求基準を超える体力の達成が必要。途中で無理と判断されれば、その時点で即りタイアさせられる (ヨーロッパパルプスのガイド登山と同様)。

(\*註) I.C. での summit day の登高・下降想定時間(登頂・下降を1日で完了させるための)

登高=Camp Muir⇒Summit max. で8時間、下降=Summit⇒Paradise max. で8時間)

- (2) 70歳以上の登頂者の割合は?

⇒⇒①: 1シーズンで案内している800人のうち2~3人。②: 1~2%

- (3) 我々だけの専用パーティーを編成してくれるか? (混成パーティーではなく)

(ゆっくりしたペースでも、リタイアさせられないために)

⇒⇒「専用パーティー編成」のサービスは行っていない。自分達だけのパーティー編成を望むなら、1パーティークライアント編成8人分全員の座席を購入すれば対応が可能。⇒⇒非常に割高になる。

#### 【III】その他の情報

- (1) ガイド会社が主催している「訓練&インストラクション&登頂のツアー」(I.C.)には種々のプログラムが用意されており、一番ポピュラーなCamp MuirからのDisappointment Cleaver/Ingraham Glacier Direct コースは3Daysの行程が一般的。料金は1人\$1,000~1,400程度(会社、含むものによって変わる)。

- (2) シーズンは5～9月であるが、7～8月が最適期。6月以前は雪が多く、9月以降は氷河が荒れてきて危険。かつ、クレバスが大きく開くために、クレバスを避けるために非常に遠回りなコースを採用せざるを得ない(登山日数延)。
- (3) Ingraham Glacier/Disappointment Cleaver を安全な低温時に通過するために、summit day の Camp Muir の出発時刻は真夜中の1～2時となる。
- (4) ガイド I. C. の予約は非常に早い段階で満杯になる。例えば、2013年のシーズンの6～8月の予約は2012年12月の段階で既に満杯。残っているのは僅かに5月と9月中旬以降のオフ・シーズンのみ。2014年シーズンの予約開始は2013年9月初めより開始(IMGの場合)。
- (5) 以下は私見です。
- ①照会したメールへの返事対応等の状況で見ると、
    - ⒶInternational Mountain Guides (IMG) が一番丁寧な対応をしてくれると思われる。
  - ②体力に「相当の」自信がある方は、混成 I. C. パーティーでも登頂可能と思われるが、普通の体力の高年齢者では、I. C. コースでの登頂は体力的に無理かも・・・?
  - ③上記ガイド会社は、氷河登高・レスキュー技術、ロープワーク、雪上技術などの講習会だけの(登頂抜きの)技術講習プログラムも開催している。

#### (6) Mt. Rainier 登頂の regulation について

- ①ガイド同伴でなくても登頂許可は出る。登頂にガイド同伴の必要はない。
- ②パーティーの人数は最低2名、最高12名。単独は原則禁止(公園局の特別な許可を得れば可能であるが、審査が厳しく、一般的ではない)。
- ③入山許可申請の際、上記3社以外の会社 or ガイドはガイドと認められない。従って、現地に詳しい日本人ガイド (or 日本のツアー会社) のガイドを同伴してもガイドとは認められないので要注意。
- ④最近の Mt. Rainier の登頂目的の入山者は年間約1万人、その内登頂者は約5千人。

### **【IV】 関係ウェブサイト**

- Ⓐ International Mountain Guides <http://www.mountainguides.com/>
- Ⓑ Alpine Ascents International <http://www.alpineascents.com/>
- Ⓒ Rainier Mountaineering, Inc. <http://www.rmiguide.com/>

Mt. Rainier 公園局(合衆国公式サイト) <http://www.nps.gov/mora/index.htm>

Mt. Rainier 国立公園 <http://www.mount.rainier.national-park.com/>  
(という名称の個人のサイト)



**Mt. Rainier をガイドレスで登れないか？ 登れるとするとその要件は？**

～氷河・クレバスの状況によっては、Ingraham Flats 附近で撤退の条件も含めて～

**【1. 前提】Mt. Rainier 登頂の方法**

| # | 種類                | 特徴                        |
|---|-------------------|---------------------------|
| a | 講習・訓練付ガイド登山（混成部隊） | 混成パーティーについて登れるだけの体力が必要    |
| b | 同（独占パーティー）        | aよりはゆっくりしたペースも可能。8人分全席購入要 |
| c | ガイドレス             | 自分達のペースで可能                |

**（1）いずれの場合にも、下記の体力と技術が必要。**

- ①登山口 (Paradise, 1620m)～頂上(4392m)まで、2800mの標高差を1泊10時間で登高できる体力。
- ②ザックはParadise～Camp Muir 間は約20kg、Camp Muir～Summit は約10～15kgとなる。
- ③登高のスピードは、400m/hの高度獲得スピードで登高8時間・下降8時間\*max.に耐えられる体力が必要。
- ④氷河登下降、クレバス、ロープワーク、アンザイレン歩行、クレバスよりの脱出技術が必要。
  - a, bの場合は、カリキュラムの中で講習してくれるので、それを受講すればほぼOK。  
ガイド同伴であるから、クライアントはセルフレスキューに足る技術があればOK。  
他メンバーを救出する技術は不要。
  - cの場合には、ガイドレスなので全て自分たちで救助できる技術が必要。  
国内で練習する必要がある(練習は可能)。

**（2）ガイド登山の場合には、下記に注意。**

- ① a, bともガイド会社への申し込みは早い時期に必要（トップシーズンはすぐ満員になる）。  
2014年のトップシーズンに行くなら2013年9月初めの時点で(約1年前)申し込むこと。
- ②通常の規定料金で独占パーティーを作るなら8人のメンバーが必要。8人に満たなくても独占パーティーにすることは可能であるが、8人分全席を購入する必要がある(⇒割高)。

**【2. Climbing Itinerary(ガイドレスの場合の一案)】 (\*day-3 偵察でダメなら撤退)**

(altitude, elevation in meters)

| Day   | Event                                | From<br>(altitude)         | To<br>(altitude)        | elv.<br>gained | Sleeping at:<br>(altitude)               |
|-------|--------------------------------------|----------------------------|-------------------------|----------------|------------------------------------------|
| Day-1 | 準備、パームミッション取得等                       |                            |                         |                | Paradise(1620)                           |
| -2    | Camp Muir まで<br>高度馴化、荷上げ             | Paradise(1620)             | Camp Muir 3000          | 1380           | Camp Muir (3000)<br>Public house or tent |
| -3    | Disappointment Cleaver<br>まで高度馴化、偵察* | CampMuir(3000)             | Disapp. Cleaver<br>3500 | 500            | Camp Muir (3000)<br>Public house or tent |
| -4    | Summit day<br>登頂後 Paradise へ下降       | CampMuir(3000)<br>(出発 真夜中) | Summit 4392             | 1392           | descending down to<br>Paradise (1620)    |
| -5    | 予備日 (登頂後 Camp                        | Muir で1泊、翌                 | 日 Paradise に            | 下山等)           |                                          |

### 【3. ガイドレスで登山できるかどうかの、一番重要な要件】

●は特に重要

(前頁【1. 前提】記載の体力・技術要件は必須要件)

- (1) 氷河上(Ingraham Glacier)、岩稜上(Disappointment Cleaver)にしっかりしたトレースが付いていること。夜間でもトレースを見失わないようなしっかりしたトレースであること。
- (2) 氷河上のルートにはワンドが十分に設置されていること。
- (3) 沢山のガイド登山の登山者が歩いており、ガイドも沢山歩いていること。
- (4) メンバー同士で、取りあえずのセルフレスキューができること。
- (5) 緊急時には、救助隊を要請できる手段(携帯、無線、伝令、英語力)があること。  
(現地捜索救助保険 加入要…年齢制限がないか?)。
- (6) 氷河、クレバスの状況が安定していること⇒気温の高低変動が少ないこと。
- (7) 天候が安定していること。



(Ingraham Glacier のクレバス、Flickr.com より引用)

#### 【検討結果】

##### (1) 今回は下記の理由により、ガイド登山は断念せざるを得ない結果になった。

- ①ガイド会社でのガイド登山の殆どの枠が既に調査時点で(2013年1月初旬)予約で満杯になっていたこと。
- ②混成部隊の Instructional Climb 方式では、我々の高年齢組は体力上の理由でついていけない可能性が高いこと。
- ③我々だけの「専用パーティー」編成は経費高となり、かつそのコストに見合う結果が得られるかどうかは定かではないこと。

##### (2) 次に、ガイドレスでの可能性を検討したが、これも下記の理由で棄却せざるを得なかった。

- ①我々だけでは、悪天時や早朝・夜間での氷河上でのルートファインディングが出来ない可能性が高いこと。
- ②悪天になった場合のエスケープ、緊急時のセルフレスキュー、救助要請がスムーズにできるかどうか不安が残ったこと。

以上